

令和元年 第25回委員会会議録

1 開催年月日 令和元年12月20日（金）

2 開閉会時刻 開会：午前10時30分 閉会：午前11時38分

3 場 所 福岡市選挙管理委員室

4 出席委員 津田委員長，濱田委員長職務代理者，三原委員，石井委員

5 事務局職員 事務局長，選挙課長，庶務係長，選挙係長，書記2名

6 傍聴者 なし

7 議 題

（1）報告事項

① 筑前海区漁業調整委員会委員選挙人名簿の登載者数について

② 政治活動のために使用する事務所に係る立札及び看板の類に表示する証票の交付状況について

③ 指定都市選挙管理委員会連合会委員長会議について

（2）その他

① 令和元年12月議会における質問について

② 次回以降の委員会の開催予定日時

・令和2年1月7日（火）午前10時30分

・令和2年1月23日（木）午前10時30分

・令和2年2月5日（水）午前9時30分

8 議事次第（○：出席委員，▲：事務局職員）

（1）報告事項

報告事項①から③について，事務局から資料の説明・報告を行った。

【質疑等】

○ 選挙制度について，衆議院小選挙区における分割区の解消という従来の要望内容で留まっている。人口比の変動があれば，憲法違反の状態にならないよう選挙区を分割することになるため，選挙制度を抜本的に改正しないかぎり分割区の解消は技術的に難しいと思う。

また，投票率の低下や地方選挙での無投票当選の増加は，選挙に対する関心が低下していることを表していると考ええる。小選挙区など，死に票が多い今の選挙制度もその一因ではないか。民意を反映させる選挙制度にしていかなけれ

ばならないと思う。

抜本改正を求めていくような機運を高めていかない限り、日本の選挙制度は投票率を向上させていくという方向にはならないと思う。

委員長会議の講演の中で主権者教育が取り上げられているが、最近の子ども達は自己肯定感が薄れており、醸成していく必要がある。政治も同じで、自分たちの意思が学校、家庭、社会の中でどのように反映されていくのかを子どもの頃から教育していくことが、政治活動や選挙に関心を持っていくうえで非常に大事なことであると思う。

総務省へ投開票事務従事者の会計年度任用職員への任用方法について要望しているが、最近の選挙においては、不正ではなく単純なミスが増えてきている。熟練した経験を持った人が管理監督していくことが重要であるため、訓練・教育を行う期間を含めて従事者を採用することも検討していく必要があると考える。

(2) その他

① 令和元年12月議会における選挙関係の一般質問について、事務局から説明を行った。

② 次回以降の委員会の開催日時は、資料記載のとおり決定した。

・令和2年1月23日に実施する市・区選挙管理委員等を対象とした研修会について説明した。

・令和2年2月5日の委員会後、出前授業を視察することについて説明した。

【質疑等】

○ 小学校での出前授業は、具体的には誰が実施しているのか。

▲ 各区及び市の選管の職員等が実施しており、全ての小学校に呼びかけている。毎年度20校程度の申込みがあり、社会の授業で選挙を取り扱う1～2月の時期に実施している。

小学校の他には、高校、大学、専門学校なども依頼があれば実施している。